

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 球脊髄性筋萎縮症(SBMA)に対するロボットスーツ Hybrid Assistive Limb (HAL)を用いたトレーニングの経時的な効果の解明』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 リハビリテーション科 職位・氏名 作業療法士・杉澤 樹

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、東邦大学医療センター大森病院 リハビリテーション科で取り組んでいるロボットスーツ Hybrid Assistive Limb (HAL)を用いたリハビリテーションが球脊髄性筋萎縮症の方にどのような影響を及ぼすのかを明らかにすることを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、ロボットスーツ Hybrid Assistive Limb (HAL)を用いたリハビリテーションが球脊髄性筋萎縮症の方に与える効果を明確にする一助につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、個人情報、リハビリテーションの実施内容、リハビリテーション実施前後での身体機能の評価結果・呼吸機能の検査結果・採血の結果 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年8月より利用を開始します。

### 【試料・情報の取得方法】

対象者: 2018年8月～2024年4月までに東邦大学医療センター大森病院 リハビリテーション科において、球脊髄性筋萎縮症と診断されロボットスーツ HALを用いたリハビリテーションを受けられた方。

方法: 診療録(カルテ)からデータを抽出し解析をします。

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院 リハビリテーション科

研究代表医師: 大国生幸 役職: 准教授

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年11月30日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用いたしません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大森病院 リハビリテーション科

職位・氏名 作業療法士 ・ 杉澤 樹

電話 03-3762-4151 内線 6645